

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成 24 年度 第 1 回 CCC 数学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 : 平成 24 年 6 月 6 日 (水) 18:00~20:00

II. 場所 : 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局会議室

III. 出席者: 平野委員(司会)、井川委員、山崎委員 (ネット参加・記録担当)、
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、平田職員

IV. 検討事項

1 月に発刊する刊行物について、目次をもとに骨子の説明を行った後、昨年度まとめた学士力 (コアカリ) 実現に求められる教育改善モデルを実現するための教育力について、今回と次回委員会 2 回で文章化することにし、教育力を検討する経緯や背景について事務局より説明した後、今回は「数学教員の教育力」のうち、数学教員に期待される学識 (のちに専門性に修正) についてまとめた。

1. 教育力まとめの背景、趣旨

モデルを説得力あるものにするためには教員としての努力が必要であり、FD の実施も含めて教員の努力としての戦略をどうするのかを今回と次回で検討し、教育力としてまとめることを確認した。

2. 数学教員の教育力 (数学教員に期待される学識 (専門性))

授業改善モデルを実現するための教育力について検討する前に、数学の教員に期待される学識 (専門性) について整理することにし、数学教員としての使命感・社会的貢献力、(一人で授業を作る時代でなくなりつつあることから) 他教員・他分野と連携し柔軟に教育をコーディネートする力、数学的な問題意識とその解決力、数学的な見方・考え方に気づかせ、学生に数学的リテラシーを養わせる力、ICT を数学教育に活用する力、といった視点から以下のようにまとめた。

なお、他委員会との表現統一を図るため、委員会後に下線部分を () 内のように修正した。

【1】数学教員に期待される学識 (専門性)

- ① 強い使命感と倫理観を持ち、社会的な貢献ができる専門家であること。
- ② 複合的視点に立って創造的かつ柔軟な考え方ができること。
- ③ 抽象化したモデルを構築して解析する能力を有していること。(解析できること。)
- ④ 数学と社会生活との結びつきを気づかせ、興味・関心を抱かせ、主体的に取り組ませる能力を有していること。(取り組ませられること。)
- ⑤ ICT などの教育技法を駆使して、参加型の教育ができる能力を有していること。(教育ができること。)

3. 次回委員会

次回は 7 月 25 日 (水) 18:00 より開催することにし、数学教員の教育力の 2 番目の項目である、「教育改善モデル実現に求められる教育力」について引き続き検討することにした。